



福島と共に脱原発を

三月福島原発訴訟団が
結成され全国に告訴・告
発が呼びかけられました。
十一月一日現在、告訴人
は一万八四九人に。十一
月十五日には福島地検に
第二次告訴を行う行動が
呼びかけられています。
被曝に苦しみながら闘
う福島の方々と繋がって
共に進む脱原発の闘いで
大飯原発を止め、全原発
廃炉へ。橋下によるガレ
キ焼却も止めましょう。

原発事故の責任をただす！ 告訴 一万人突破！

「告訴宣言」紹介

福島原発事故の責任
をただす！告訴宣言

福島原発事故から一年
を過ぎた今なお、事故は
全く収束せず被害は拡大
の一途をたどっています。
美しい自然と豊かな生命
をたたえたふるさと、何
ものにも代え難い共同体
を失った私たちは地域社
会の分断という重荷を背
負い、いつ終わるともし
れない苦難の中にいます。

福島原発事故は、すで

に日本の歴史上最大の企
業犯罪となり、福島をは
じめとする人々の生命・
健康・財産に重大な被害
を及ぼしました。原発に
近い浜通りでは、原発事
故のため救出活動ができ
ないまま津波で亡くなっ
た人、病院や福祉施設か
ら避難する途中で亡くなっ
た人、農業が壊滅し、悲
観してみずから命を絶つ
た農民がいます。

このような事態を招い

た責任は、「政・官・財・
学・報」によって構成さ
れた腐敗と無責任の構造
の中にあります。とりわ
け、原発の危険を訴える
市民の声を黙殺し、安全
対策を全くしないまま、
未曾有の事故が起きてな
お「想定外の津波」のせ
いにして責任を逃れよう
とする東京電力、形だけ
のおざなりな「安全」審
査で電力会社の無責任体
制に加担してきた政府、
そして住民の苦悩にま
もに向き合わずに健康被
害を過小評価し、被害者
の自己責任に転嫁しよう
と動いている学者たちの
責任は重大です。それに
もかわらず、政府も東

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

京電力も、根拠なく「安全」を吹聴した学者たちも誰一人処罰されるどころか捜査すら始まる気配がありません。日本が本当に法治国家かどうか、多くの人々が疑いを抱いています。

生命や財産、日常生活、そして「健康で文化的な最低限度の生活」さえ奪われた今、すべての人々がそれを奪った者への怒りを込めて、彼らの責任を追及し、その罪を認めさせなければなりません。そのために、最も深刻な被害を受けている福島でまず私たちが立ち上がり、行動しなければなりません。

ん。告訴団を結成した理由もここにありません。

私たちは、彼らに対する告訴を福島地検で行うことを決めました。自分たちも放射能汚染の中で被曝を強要されながら存在しなければならぬ矛盾、逃れられない厳しい現実を背負う福島の検察官こそ、被害者のひとりとして、子どもを持つ親として、この事故に真摯に向き合うべきだと考えるからです。

私たちは、自分たちのためだけにこの闘いに踏み出すではありません。日本政府は、あらゆる戦争、あらゆる公害、あらゆる

ゆる事故や企業犯罪で、ことごとく加害者・企業の側に立ち、最も苦しめられている被害者を切り捨てるための役割を果たしてきました。私たちの目標は、政府が弱者を守らず切り捨てていくあり方そのものを根源から問うこと、住民を守らない政府や自治体は高い代償を支払わなければならぬという前例を作り出すことにあります。そのため私たちは、政府や企業の犯罪に苦しんでいるすべての人たちと連帯し、ともに闘っていきたくと思います。

この国に生きるひとり

ひとりが尊重され、大切にされる新しい価値観を若い人々や子どもたちに残せるように、手を取り合い、立ち向かっていきましょう。

二〇一二年三月十六日

福島原発告訴団結成集会
参加者一同

